



## ご使用前に



- HITOCOCO (ヒトココ) 「介護保険モデル」は徘徊感知センサーとしてご家族や介護者の方の「補助」や「手助け」を目的とした装置です。
- **見守る要介護者の安全責任はお客様ご自身にあります。**  
ご了承頂けない場合は、使用しないでください。
- 電池の充電は定期的の実施してください。
- 必要な時に電池切れにならないよう、日常の管理をお願いします。  
ご使用の際は、必ず動作確認を行ってください。
- 本機器の利用によって生じた損害について、弊社は賠償の責任を負いません。

### ■ 安全のためのご注意 (必ずお守りください) ■

- 本体が高温になったり、異臭や煙がでたときは電源スイッチを切る。分解や改造ほしない。内部に水や異物を入れない。
- 濡れた手で充電の操作をしない。子機は口の中に入れない。USBケーブルは充電以外の用途には使わない。
- 航空機内や病院など電波の使用を禁止されている所では電源を切る。
- 長期使用しないときは電源スイッチを切る。異常に高温になる場所には置かない。  
(特に炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は高温になり、本体の変形や故障の原因になります)
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くには置かない。(変形や故障の原因になります)
- 強いエリアで2台以上の親機で重複して同時に操作すると、「セージ状態です」と表示されます。  
親機が探されているときは、動作LEDが早点滅します。この状態では、探されることが優先され、親機のキー操作は無効になります。(探すことを優先する場合は、電源をOFF→ONで探索してください)
- 内蔵の電池はLiポリマー電池を使用しています。繰り返しの充電回数は最大で約500回です

	親機 	子機 
電波飛距離	見通し1km (使用環境による)	
電池寿命	1か月 (連続見守り時)	1か月 (連続見守り時)
充電時間 (※)	約2時間 (3時間以内)	約2時間 (3時間以内)
使用温度範囲	-10℃～40℃	-20℃～40℃
寸法	107x64x13mm	60x40x12mm (タブ部分含む)
重さ	70g	20g

- ※ 指定電圧: 充電に使用するUSBの電源電圧はDC5V (USB規格に準拠)
- 防水性能: 親機:IPX6相当、子機:IPX7相当

- 電波に関する注意
  - 本製品は、日本電波法の認証を受けた「特定小電力の無線設備」の無線モジュールを内蔵しています
  - 日本国内でのみ使用可能です
  - 本体を開けて分解/改造したり、証明ラベルを剥がすと法律により罰せられることがあります

- 2 -

# HITOCOCO 介護保険モデル お取り扱い説明書



## 対象者の方に子機を身に着けていただく際のポイント



### ココがポイント!

付属の専用お守り袋に子機を入れて、対象者の方にお渡しする際も「xxxちゃんが心配して、お守り買ってきてくれましたよ。持ってみませんか?」とストーリーを添えてみると良いでしょう。

また、お着替えの肌着の内側に、子機を入れるポケットをつかっていらっしゃるケースもあります。入浴介護の際に脱ぎ捨てられた肌着から子機を取り出し、お着替えの肌着のポケットに入れて、一人ひとりの方に合わせた工夫が大切です。

常に身に付けて頂けなくても、「今からお出かけなので、心配だから今だけ持ってね。」とポケットやカバンに入れるのも◎です。少しでも、家族やスタッフの方の心理的ストレスの軽減に。



### ココがポイント!

子機の電波飛距離を最大限に発揮するためには、

- ① なるべく体の高い位置に!  
\* 電波の特性上、地面から離れた方がよく電波が飛びます。  
\* くつ等の履物は地面に近いので、飛距離が落ちます。
- ② できるだけ、体に密着させないこと!  
\* 人間の体=水分で電波が吸収され飛距離が落ちます。



腰よりも高い位置に子機を身に着けると◎です

- 4 -

## 各部名称



## 重要: 充電に関するご注意



- 長期間、使用せずに放置・保管する場合は、必ず電源をOFFにしてください。電池切れの状態でもONのまま放置すると、充電電池が壊れる恐れがあります。
- 親機は、電池残量ゲージが2本になったら充電しましょう。  
※ 残量ゲージが1本の場合、いつ電池切れになってもおかしくありません。
- 子機は、本体に液晶がないため、動作LEDの色で電池残量を判断します。  
※ 緑=電池残ゲージ3本、オレンジ=2本、赤=1本  
したがって、子機は動作LEDがオレンジになった時点で充電しましょう。

- 3 -

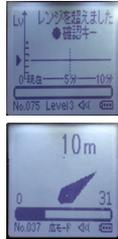
## 一対象者の方を見守りたい 見守り設定方法

- STEP① 「◀▶ 選択キー」で対象子機の「サーチNo.」を表示させ「●確認キー」を長押ししてください。(押し続ける)
- STEP② 液晶画面に「サーチ中...」と表示され、続いて「見守り中」となります。  
\* 「近くにいません」と表示される場合、下記のいずれかの理由で子機の電波受信ができていません。  
1) 子機の電源が入っていない  
2) 子機が電波の届かない場所にいる(距離が離れているもしくは障害物が多い)
- STEP③ 見守り範囲「LEVEL1～5」を「◀▶ 選択キー」で設定してください。  
※ 近い範囲で見守りたい時:  
キーで 見守り範囲のレベルバーが上へ移動します。  
※ 遠い範囲で見守りたい時:  
キーで 見守り範囲のレベルバーが下へ移動します。  
※ 見守り中は、画面表示(約3秒)と画面表示なし(約6秒)が交互に切り替わります。  
画面表示させるには「●確認キー」を押してください。  
※ 見守りを強制終了するには、「■停止キー」を長押ししてください。



- ・タテ軸:子機の受信電波強度  
子機の電波強度が強い(子機が近くにいる)とレベルが高くなります。
- ・ヨコ軸:見守り経過時間  
最新データを左端から表示 (現在→5分前→10分前)
- ・子機の受信電波強度  
電波強度が強いほど子機が近いことを示します。(グラフの縦軸と運動します)

- STEP④ 子機が見守り範囲よりも速く離れたと、親機が警告を発します。  
「レンジを超えました。●確認キー」と表示されます。  
※ 30秒以内に見守り範囲へ戻ってきた場合は警告は鳴りません。(30秒以上、継続して範囲外に出て、はじめて「流出」と判断します)
- STEP⑤ 親機の「●確認キー」を押してください。  
子機の流出を感知した「距離と方向の目安」を表示します。  
表示は約6分間後に自動終了します。強制終了するには「■停止キー」を押してください。



## HITOCOCO の仕組み

- ①子機が発信する電波を親機が受信することで、子機を見守ったり、子機までの距離と方向を感知します。  
携帯電話の基地局などを經由せず、親機と子機の間で完結する仕組みですので通信料などは一切かかりません。(トランシーバーと同じ原理です)
- ②端末(親機も子機も両方)には、固有のID番号が付与されており、その固有IDを頼りに、対象となる子機を親機で見守り、感知します。
- ③親機1台で、子機1台を見守ることができます。
- ④あらかじめ設定した「見守り範囲」の外に子機が出てしまった場合、親機が警告(音・振動・液晶表示)でお知らせします。30秒以内に見守り範囲へ戻ってきた場合は警告は鳴りません。(30秒以上、継続して範囲外に出てから「流出」と判断します)
- ⑤ 見守り範囲は、子機の電波を親機で受信できる範囲となります。そのため、居宅環境や周辺環境によりその距離は異なります。  
※見守り範囲は5段階で調節可能です。ただし、その範囲(10m~100m)は、あくまで子機の電波強度をもとにした「目安」であるため、使用環境(障害物などの多い場所など)によっては  
実際にお試しいただき、最適なレベルを選択してください。



**ココがポイント!**  
5段階の見守り範囲を設定し、その範囲から子機が離れたら親機が警告でお知らせしてくれます。  
流出経路に関係なく、「離れたらお知らせ」するので安心です。

設定した見守り範囲よりも子機が離れたら親機が警告でお知らせ!

LEVEL	5	4	3	2	1
見守り範囲	狭い ← → 広い				

## 「感知情報」を頼りに、見守り対象者を保護するには



**ココがポイント!**  
子機を発見。。。! その時、立ち止まって、じっと液晶画面と睨めっこするのはなく、親機が表示する方向へ足を止めず、とにかく、ドンドン進みましょう!

- もしも間違った方向に進んでいると、電波強度のレベル数値が、スタート地点よりも低くなります。  
「ドンドン進みながら、時々確認。」がポイントです!  
また、距離が10m前後まで近づくと、自動的に「広域モード」→「近距離モード」へ切り替わります。  
万一対象者を通り過ぎてしまったら、自動的に「広域モード」へ戻ります。その時は、さきほど「近距離モード」に切り替わった場所へ戻り、その周辺を調べましょう。



**ココがポイント!**  
親機のパフォーマンスを最大化するためには、親機の液晶上部を指で覆わない!  
この部分に繊細な感度のアンテナが入っていますのでココに指がかかると、電波の受信精度が落ちてしまいます!  
点線より下の位置で持つのが◎正解です

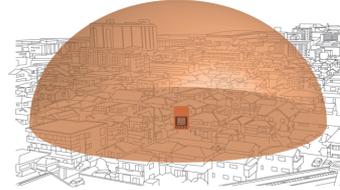


その他、使い方のコツなどの動画は、「ヒトココ取説」で検索ください。  
AUTHENTIC JAPAN(株) <http://www.authjapan.com>

## 「見守り対象者の姿が近くに見当たらない」そんな時は。。

- STEP① 「◀▶ 選択キー」で対象子機の「サーチNo.」を表示させ「●確認キー」を短く押ししてください。(見守りの際の「長押し」ではなく、短かく押します)
- STEP② 「サーチ中...」と液晶に表示され、約6秒間で感知エリア全体をスキャンします。

親機を中心に電波が広がる様子



- STEP③ 対象者が感知エリアに居る時は「近くにいません」と液晶に表示されます。場所を移動しながら、もう一度①からやり直しましょう。  
※ 「近くにいない」というのも重要な情報です。
- STEP④ 対象者を感知すると「エリア内にいます」と液晶に表示されます。その後、自動的に感知情報へ切り替わります。



- ・子機までの推定距離  
距離の目安です。精度は使用環境により変動します。
- ・子機の所在方向  
方向の目安です。精度は使用環境により変動します。
- ・受信電波の強度(0~100)  
子機までの距離に近いほどレベルが大きくなります。間違った方向に進むと、電波強度がドンドン小さくなりゼロに近づいていきます。